第３号様式（第１３条第２項）

記　載　例

作成年月日を記入してください。→年　月　日

（宛先）流山市長

事　業　系　一　般　廃　棄　物　減　量　計　画　書

（建築物名称）

（所在地）

（事業所名）

流山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第２３条の規定により、令和８年度の減量計画を次のとおり提出します。

年度区分 / 種類	前年度（令和７年４月～令和８年３月）実績 A 発生量 kg	処理区分 B 減量 kg	C 廃棄物処分量 kg	減量率（B／A）%	当年度（令和８年４月～令和９年３月）実績 D 発生量 kg	処理区分 E 減量 kg	F 廃棄物処分量 kg	減量率（E／D）%	対前年度比 発生量の増減（D－A）kg	減量の増減（E－B）kg	廃棄物処分の増減（F－C）kg
紙（ＯＡ紙）											
紙（ＯＡ紙以外）											
紙パック											
新聞紙											
雑紙											
段ボール											
再生に適しない紙											
厨芥類											
可燃ごみ											
可燃系粗大ごみ											
合　計											

減量とは、再生利用に供した量です。

廃棄物処分量とは、ごみとして処分した量のことです。

減量率とは、減量／発生量で算出し、百分率で小数点以下第１位まで記入してください。

例１）厨芥類の一部を業務用生ごみ処理機で処理している場合
　発生量　５，０００kg
　減量　　７５０kg←生ごみ処理機処理量
　減量率　１５．０％

例２）新聞紙をすべて再生利用に供している場合
　発生量　１，０００kg
　減量　　１，０００kg
　減量率　１００．０％

ごみの種類については、標記の１０る条例第23条の規定により、令和8年 種類以外に出る廃棄物がある場合、空欄にご記入ください。
※事業系一般廃棄物として排出できるごみの種類については、事業系廃棄物処理ガイドブックをご参照ください。
（ホームページ番号：１０４４９１７）

建築物の属性	
建築物の規模	地上　階（地下　階）
	延べ床面積　㎡
当該建築物を使用している事業者の名称	
在館人員	従業員（テナント従業員を含む。）　人
	外来者（通学者を含む。）　人
	合　計　人
建築物の用途	事務所　社　㎡
	店舗　店　㎡
	その他（　）所　…
	住宅　世帯　…
	共用部分　…

当該建築物を使用している事業者の名称とは、テナント名等のことです。書ききれない場合には、別紙一覧表を添付してください。

外来者とは、１日平均の来店者数等です。

共用部分とは、階段、エントランス、ロビーといった不特定多数が使用する部分です。

事業所名とは、建築物に対し民法上の所有権を有する者。または、下記に掲げるものを所有者とみなすこともできます。
（１）建築物の共有者又は区分所有者が構成する管理組合の代表者。
（２）前記の管理組合が構成されていない場合は、建築物の共有者又は区分所有者の中から選んだ代表者。
（３）建築物の全部を賃貸その他の理由により、事実上占有して使用している者。
（４）建築物の所有者から、その建築物の維持、清掃業務等の管理に止まらず、建築物に関する総合的な管理権限を与えられている者。
※令和６年度の提出分より、押印が不要になりました。

廃棄物・再生資源の種類	業者名（許可番号）
廃棄物収集運搬業者・廃棄物処分業者	
再生資源回収業者	
廃棄物処理担当者職・氏名	電話

廃棄物収集運搬業者・廃棄物処分業者とは、委託している本市の一般廃棄物収集運搬許可業者を記入してください。

再生資源回収業者とは、缶、びん等を再生利用に供している業者を記入してください。缶、びん等を再生利用に供する場合は、許可のない業者へ委託することもできます。

廃棄物処理担当者職・氏名とは、事業所で選任した廃棄物処理担当者を記入してください。

ごみの減量及び再利用の現況

ごみの減量及び再利用の現況とは、事業所内のごみ減量・資源化に係る現状の取り組みを記入してください。

今年度の目標

1　今後の取り組みについて

2　前年度と比べて増減した理由

今年度の目標とは、減量の数値目標や排出抑制の行動目標を記入してください。また増減理由も記入してください。